

YCC県民文化ホールスタッフ

施設管理・窓口スタッフ

管理事務室にいるスタッフです

モ 防災隊長

支配人→総務部長→部長
→管理事務室スタッフ

モ 来場者対応班

隊長以外の
管理事務室スタッフ全員

主催者・関係者

催し物を開催される皆様のことです

受付スタッフ

ホワイエにて受付など
をされる皆様

舞台スタッフや出演者

舞台上やバックヤードにいる
皆様

YCC県民文化ホールスタッフ

舞台技術部スタッフ

舞台袖にいるスタッフです

モ 舞台班長

その場で決定
(事務室付き・操作
盤付きなどを想定)

舞台対応班

班長以外の舞台技
術部スタッフ全員

施設管理部スタッフ

施設管理セクションスタッフです

モ 防災センター

防災センター
スタッフ

モ 施設管理班長

施設管理部長
→スタッフ

施設対応班

班長以外の
施設スタッフ
(含清掃)リハ室
練習室
会議室
利用者

喫茶みるく

地震発生

緊急地震速報受信

揺れが
起きている
あいだ

自身の安全を確保

モトローラ65ch
各班との通信開始
(=地震防災隊の設置)

- 施設利用状況の確認
- 南側玄関の鍵を確保
- 救急ボックスを事務室
外で台車に乗せる
- 共用部・南側玄関・ホワ
イエの被害状況の確認
- 南側玄関の開放
- 催し物に関する避難
動線状況を確認、ホワイ
エ扉・避難扉の開放
- 会議室利用時の状況の
確認および開放

消

隊長へ65ch無線報告

巡回する来場者対応班スタッフと
口頭にて情報共有自身の安全を
確保してください避難に備えて
客席扉を開放し
てください
非常口周りの動線を
確保

自身の安全を確保

来場者へのアナウンス(揺れの状況に応じて判断)
「ただ今、地震が発生いたしました。新しい情報が入り次第、お知らせいたします。慌
てず、荷物などを頭を守ってください。この建物は耐震基準を満たしております。」揺れが小さく明らかに公演の続行が可能な場合は、
主催者・舞台技術部にて確認の上、公演続行。転倒・落下の恐れのあるもの
の近くから観客を避難させる

お客様のパニックを抑えるために、アナウンスを継続してください

出演者を安全な場所へ誘導
●公演主催責任者は、舞台班長
と情報共有をしながら待機

消

- 舞台上・舞台袖の出演者を
安全な場所(楽屋溜まりや楽屋口外)に誘導
- 舞台・客席の被害状況の確認

常に情報共有

隊長へ65ch無線報告

安全確保→情報確認

モトローラ65ch
各班との通信開始

- 施設状況の確認
(モニター・火災報知
器等)

隊長へ無線報告

自身の安全を確保

モトローラ65ch
各班との通信開始

- 施設状況の確認
(モニター・火災報知
器等)

隊長へ無線報告

消

それぞれの持ち
場から被害情
報

班長へ口頭報告

自身の安全を確保
※すぐに廊下
に出る！特に
ピアノからは
離れて！リハ室・練習室の
利用者の皆様は、
皆様のご判断で楽
屋口から屋外へ避
難を開始してくだ
さい。(建物構造上、
スタッフの到着が
遅くなるため)

安全確保↓お客様避難誘導等、喫茶防火計画に準じた対応を実施

揺れが
収まったら

各班からの報告収集

公演再開/中止協議
館外避難の確定来場者対応班と受付スタッフで避難に備えて
館外への避難経路を確認、誘導立ち位置を決定

決定後隊長へ口頭or内線報告

公演再開/中止協議
館外避難の確定公演再開/中止協議
館外避難の確定来場者への情報
共有を継続情報共有を継続
※複数名駐在時は、
楽屋口・北側玄関避
難誘導確保情報共有を継続
●施設内ガス等
緊急停止作業自身の避難準
備を開始

公演中止および館外への避難開始の決定(①決定のモトローラ共有・②防災隊長による「大小ホールを除く」館内一斉放送)

避難開始が
決まったら屋外へ救急ボックスを
運び出し
防災本部の仮設
情報収集および
避難者への
アナウンス開始報告を受けながら、
救急ボックス内にある
「災害発生報告書」に記入来場者の避難誘導開始
【客席扉から館外まで】避難誘導経路上の避難
完了確認誘導が完了したら、自
身もそのまま避難出演者、スタッフ等関係者の
避難状況確認
自身もそのまま避難誘導・退出完了を
隊長に報告出演者、スタッフ等関係者の状況を確認し、
防災隊長まで報告をお願いします。来場者の避難誘導開始
【客席からの退出まで】客席・舞台・バック
ヤードの避難完了
確認客席・舞台・バック
ヤードの避難完了
確認誘導・退出完了を
隊長に報告誘導・退出完了を
隊長に報告リハ室・練習室の
状況確認誘導・退出完了を
隊長に報告

- 施設内ガス等
緊急停止作業

館外退出・防災本部に合流
●情報収集
●初期救護等対応利用団体の避難状
況を確認し、
防災隊長まで報告
をお願いします。

状況を確認後、防災隊長まで報告

避難が完了
したら

★★★★主催者様要点★★★★

- ①まずは自分の身を守る
- ②揺れが収まったら、客席扉を開放
- ③ホール各スタッフと連携・情報共有

主催者様の受付スタッフとして扉開け・誘導をお願いしたい人数
大ホール8名(少なくとも4名)・小ホール4名(少なくとも2名)

★★★★ホールスタッフ要点★★★★

- ①パニック抑制(「かがんで頭を守ってください」)
- ②モトローラ65ch(舞台スタッフ間連携は大H1,小H3)
- ③二次災害防止(火災・停電・ガス漏れ・EV閉じ込め)
- ④停電時の非常電源は約20分(このあいだに避難)
- ⑤火災時の初期消火は無理せず、早期の避難を優先

モ

モトローラ所持者
緊急時65ch
※舞台スタッフ間無線は別回線

消

初期消火対応
※無理な消火はしない
※早期の避難が最優先

■防災本部

- 屋外の安全な場所に設置
※駐車場・寿宝第一公園は甲府市指定の「避難地」。近隣住民の避難
場所としても想定されています。
- 災害情報を収集し、来場者に常にアナウンス
- 近隣の「指定避難所」は(63)中央部市民センターや(53)甲府市
役所西庁舎(旧穴切小)